

# 令和元年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	教育文化施設:生原中区地区集会所(建設工事)整備事業				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町生原1331番地5				
補助事業の成果の目標	<p>生原中区地区集会所は昭和52年度の建設から42年が経過し、これまで地域コミュニティの拠点施設として幅広く活用されてきたが、経年による老朽化が目立ち、地域住民の大幅な増加に伴い手狭となっている。</p> <p>また、玄関口やトイレの入口には大きな段差があり、廊下と集会室の間にも段差があるなど、高齢者や身障者の利用が困難になっている。さらには、トイレが男女共用であるなど、地域コミュニティ活動の拠点として機能的に十分な施設とは言いがたく、数年前より地域住民から改善の要望が出されている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、当該施設をバリアフリー化や利便性の向上を念頭に、住民の誰もがより使いやすい快適な施設に建て替え、住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 生原中区人口及び世帯数(令和元年5月31日時点) 人口1,189人 世帯数489世帯</p>				
補助事業の内容	生原中区地区集会所建設工事 木造平屋建 延床面積 174.09㎡				
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和元年度				
事業費及び交付金額		平成30年度まで	令和元年度	令和2年度以降予定	計
	事業費	円 4,428,000	円 49,544,000	円 0	円 53,972,000
	交付金額	円 3,800,000	円 41,287,000	円 0	円 45,087,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 供用開始後、地域住民への聞き取り調査を実施したところ、バリアフリー化が整備され、快適で使いやすいと好評を得ており、実際に盛んに利用されるなど、住民の集う地域コミュニティの拠点として十分な機能を果たしていることから、住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ・地区回覧の周知 ・完成後、集会所内に調整交付金事業である旨を記載したプレートを設置</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	これまで建設した地区集会所の優れた点を取り入れるとともに、住民の声を聞きつつ改良点を探するなど、よりよい施設となるように十分な視察と検討を重ねながら事業実施を図る。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

# 平成30年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:みさと芝桜公園常設トイレ建設工事				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町松之沢15番地2				
補助事業の成果の目標	<p>ウォーキングなど健康増進のために来園する近隣の住民や介護施設利用者、榛名湖・箕輪城址・芝桜公園近隣の百観音を訪れる観光客、芝桜維持管理作業を通年で行っている1日15名以上(女性含む)の作業員等による年間を通じてのトイレ利用があり、常設トイレの設置が要望されている。</p> <p>②芝桜まつり期間(4月上旬から5月上旬) みさと芝桜公園には現在仮設トイレ(汲取り式)が1ヶ所設置されているが、老朽化による故障・不具合が絶えず対応に苦慮している。今後、観光客減少の要因になると考えられる。</p> <p>以上のことから、障害者や高齢者、女性客等の意見を反映させた常設トイレを設置し、施設の充実化とサービス向上を図ることで、より快適に公園を利用できるようにしたい。</p> <p>【参考指標】 2017みさと芝桜まつり入園者数61,139人 2018みさと芝桜まつり入園者数38,074人</p>				
補助事業の内容	みさと芝桜公園常設トイレ建設工事 木造平屋建 55.36㎡				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		29年度まで	30年度	31年度 以降予定	計
	事業費	円 2,707,020	円 36,561,240	円 0	円 39,268,260
	交付金額	円 2,603,000	円 34,500,000	円 0	円 37,103,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 供用開始後、利用者への聞き取り調査を実施したところ、以前のトイレと比べ快適で使いやすいと好評を得ており、公園利用者の利便性の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ・工事看板へ記載 ・完成後、トイレ外壁に調整交付金事業である旨を記載したプレートを設置</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	定期点検、整備等を行い、トイレの管理に努める。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

# 平成30年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道箕郷-206号線改良舗装工事 (高崎市)				
補助事業者名	高崎市長				
実施場所	高崎市箕郷町生原				
補助事業の成果の目標	<p>昭和62年に供用開始の本路線は主要地方道高崎・東吾妻線と一般県道柏木沢・大八木線を結ぶ地域の主要道路であるとともに、学生も通学に利用している。 しかし、過去の舗装工事から10年以上経過したことによる老朽化で路面が亀甲状にひび割れるほど損傷が激しい状態である。通行時の快適性や安全性が悪化していることで周辺住民の日常生活に支障をきたしており、今後更なる舗装の劣化も懸念される。 そこで、現在の交通量に見合った構造で舗装を改良することにより、車両及び歩行者の通行の快適性・安全性を確保し、周辺住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 箕郷町生原地区 世帯数 1,683世帯 人口 4,080人 (平成30年11月1日現在)</p>				
補助事業の内容	工事延長 L=110.0(現年度)m/1080.0(全体計画)m 幅員W=4.3~5.9m				
補助事業の始期及び終期	平成26年度 から 令和3年度				
事業費及び交付金額		29年度まで	30年度	令和元年度以降	計
	事業費	円 31,687,200	円 7,333,200	円 51,381,240	円 90,401,640
	交付金額	円 28,323,000	円 7,178,000	円 49,722,400	円 85,223,400
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 工事完了区間について、地域住民(区長等)に聞き取り調査を行ったところ、安全性・快適性が向上しているとの回答があった。 【地域住民への周知の実施状況】 地域住民への周知は、工事看板及び工事回覧への記載、工事完成後ペイントを実施した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	工事完了区間について、通行の安全性・快適性が向上したことから、今後とも地域住民の理解を得ながら、事業を実施する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	-				

# 平成29年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	教育文化施設:東区地区集会所整備事業				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町生原465番地4				
補助事業の成果の目標	<p>東区地区集会所は昭和55年度の建設から36年が経過し、これまで地域コミュニティの拠点施設として幅広く活用されてきたが、経年による老朽化が目立ち、地域住民の大幅な増加に伴い手狭となっている。</p> <p>また、玄関口やトイレの入口には大きな段差があり、廊下と集会室の間にも段差があるなど、高齢者や身障者の利用が困難になっている。さらには、トイレが男女共用であるなど、地域コミュニティ活動の拠点として機能的に十分な施設とはいいがたく、数年前より地域住民から改築の要望が出されている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、当該施設のバリアフリー化や利便性の向上を念頭に、住民の誰もがより使いやすい快適な施設に建て替え、住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】          東区人口及び世帯数(平成29年4月1日時点)          人口 833人 世帯数 328世帯          年間利用状況(平成28年度)          利用日数 157日 利用者数 延べ2,104人</p>				
補助事業の内容	東区地区集会所建設工事 木造平家建 延床面積 197.46㎡				
補助事業の始期及び終期	平成28年度から平成29年度				
事業費及び交付金額		28年度まで	29年度	30年度 以降予定	計
	事業費	円 3,396,600	円 47,476,800	円 0	円 50,873,400
	交付金額	円 3,190,000	円 47,305,000	円 0	円 50,495,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕          供用開始後、地域住民への聞き取り調査を実施したところ、快適で使いやすいと好評を得ており、実際に盛んに利用されるなど、住民の集う地域コミュニティの拠点として十分な機能を果たしていることから、住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕          ・工事看板へ記載          ・地区回覧の周知          ・完成後、集会所内に調整交付金事業である旨を記載したプレートを設置</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>これまでに建設した地区集会所の優れた点を取り入れるとともに、住民の声を聞きつつ改良点を探するなど、よりよい施設となるように十分な視察と検討を重ねながら事業実施を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

# 平成29年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道箕郷-206号線改良舗装工事 (高崎市)				
補助事業者名	高崎市長				
実施場所	高崎市箕郷町生原地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は主要地方道高崎・東吾妻線と県道柏木沢・大八木線を結ぶ地域の主要道路であるとともに、地区の通学路にもなっている。 しかし、老朽化に伴う路面のひび割れ等の損傷が激しいため、周辺住民の日常生活に支障をきたしている。 そこで、現在の交通量に見合った構造で舗装を改良することにより、車両及び歩行者の通行の快適性・安全性を確保し、周辺住民の生活環境の向上を図る</p> <p>【参考指標】 箕郷町生原地区 世帯数 1,579世帯 人口 4,009人 (平成29年8月1日現在)</p>				
補助事業の内容	工事延長 L=137.0m/1080.0m 幅員W=6.3m				
補助事業の始期及び終期	平成26年度 から 平成33年度				
事業費及び交付金額		28年度まで	29年度	30年度以降	計
	事業費	円 9,039,600	円 11,059,200	円 58,077,240	円 78,176,040
	交付金額	円 8,026,000	円 9,297,000	円 49,704,000	円 67,027,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 工事完了区間について、地域住民(区長等)に聞き取り調査を行ったところ、安全性・快適性が向上しているとの回答があった。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域住民への周知は、工事看板及び工事回覧への記載、工事完成後ペイントを実施した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	工事完了区間について、通行の安全性・快適性が向上したことから、今後とも地域住民の理解を得ながら、事業を実施する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	-				

# 平成29年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道箕郷-206号線改良舗装工事(第2工区) (高崎市)				
補助事業者名	高崎市長				
実施場所	高崎市箕郷町生原				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は主要地方道高崎・東吾妻線と県道柏木沢・大八木線を結ぶ地域の主要道路であるとともに、地区の通学路にもなっている。 しかし、老朽化に伴う路面のひび割れ等の損傷が激しいため、周辺住民の日常生活に支障をきたしている。 そこで、現在の交通量に見合った構造で舗装を改良することにより、車両及び歩行者の通行の快適性・安全性を確保し、周辺住民の生活環境の向上を図る</p> <p>【参考指標】 箕郷町生原地区 世帯数 1,628世帯 人口 4,046人 (平成29年10月31日現在)</p>				
補助事業の内容	工事延長 L=150.0m/1080.0m 幅員W=6.3m				
補助事業の始期及び終期	平成26年度 から 平成33年度				
事業費及び交付金額		28年度まで	29年度	30年度以降	計
	事業費	円 9,039,600	円 11,588,400	円 58,077,240	円 78,705,240
	交付金額	円 8,026,000	円 11,000,000	円 49,704,000	円 68,730,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 工事完了区間について、地域住民(区長等)に聞き取り調査を行ったところ、安全性・快適性が向上しているとの回答があった。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域住民への周知は、工事看板及び工事回覧への記載、工事完成後ペイントを実施した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	工事完了区間について、通行の安全性・快適性が向上したことから、今後とも地域住民の理解を得ながら、事業を実施する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	-				

# 平成28年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	教育文化施設:生原1区地区集会所整備事業				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町生原10番地、乙1番地3の一部				
補助事業の成果の目標	<p>生原1区地区集会所(生原西部集会所)は昭和51年度の建設から40年が経過し、これまで地域コミュニティの拠点施設として幅広く活用されてきたが、経年による老朽化が目立ち、地域住民の大幅な増加に伴い手狭となっている。</p> <p>また、玄関口やトイレの入口には大きな段差があり、廊下と集会室の間にも段差があるなど、高齢者や身障者の利用が困難になっている。さらには、トイレが男女共用であるなど、地域コミュニティ活動の拠点として機能的に十分な施設とは言いがたく、数年前より地域住民から改善の要望が出されている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、当該施設をバリアフリー化や利便性の向上を念頭に、住民の誰もがより使いやすい快適な施設に建て替え、住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】          生原1区人口及び世帯数(平成28年7月1日時点)          人口 848人 世帯数 355世帯          年間利用状況(平成27年度)          利用日数 183日 利用者数 延べ1,860人</p>				
補助事業の内容	生原1区地区集会所建設工事 木造平家建 延床面積 195.43㎡				
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成28年度				
事業費及び交付金額		27年度まで	28年度	29年度以降予定	計
	事業費	円 3,067,200	円 47,779,200	円 0	円 50,846,400
	交付金額	円 3,060,000	円 40,522,000	円 0	円 43,582,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕          供用開始後、地域住民への聞き取り調査を実施したところ、快適で使いやすいと好評を得ており、実際に盛んに利用されるなど、住民の集う地域コミュニティの拠点として十分な機能を果たしていることから、住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕          ・工事看板へ記載          ・地区回覧の周知          ・完成後、集会所内に調整交付金事業である旨を記載したプレートを設置</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>これまでに建設した地区集会所の優れた点を取り入れるとともに、住民の声を聞きつつ改良点を探すなど、よりよい施設となるように十分な視察と検討を重ねながら事業実施を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

# 平成28年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道箕郷-3-358号線改良舗装工事				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町西明屋・矢原地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は主要地方道高崎・東吾妻線と県道新井・下室田線を結ぶアクセス道路であり、周辺に採石場や給食センターがあることから、大型車が多く通行する。</p> <p>しかし、近年の交通量の増加により、舗装構成が現在の交通量に対応した構造となっていないことや、老朽化に伴う劣化もあり、舗装面のひび割れやたわみ等の損傷が多く見られ、交通騒音や車両走行の安定性低下による交通事故発生の危険性が高まっていること、降雨後に行ける水溜りによる歩行者の水はねなどにより周辺住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>そこで、現在の交通量に見合った構造で舗装を改良することにより、大型車をはじめとする車両及び歩行者の通行の快適性・安全性を確保し、周辺住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 交通量(大型車) 247台/12h(平日7:00~19:00)</p>				
補助事業の内容	工事延長L=150.0m/910.0m 幅員W=6.6m				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成28年度				
事業費及び交付金額		27年度まで	28年度	29年度以降予定	計
	事業費	円 66,927,600	円 12,884,400	円 0	円 79,812,000
	交付金額	円 62,949,000	円 10,000,000	円 0	円 72,949,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>(補助事業の成果及び評価) 地域住民(区長等)に聞き取り調査を行ったところ、安全性・快適性が向上しているとの回答があったことから、周辺住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>(地域住民への周知の実施状況) ・工事看板へ交付金事業である旨を記載 ・工事回覧での周知 ・工事完成後交付金事業である旨をペイント</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

# 平成27年度

## 事業評価書

付紙様式第2

補助事業名	教育文化施設:第3区地区集会所整備事業				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町西明屋318				
補助事業の成果の目標	<p>第3区地区集会所は昭和47年度に建設され、建設から41年が経過している。これまで地域コミュニティの拠点施設として幅広く活用されてきたが、近年では経年による老朽化が著しく、これまで修繕を繰り返してきたものの、特に外壁は錆のために修復不能の状態となっている。</p> <p>また、玄関口や廊下と集会室の間には段差があり、トイレは狭小で、かつ男女共用の和式便器のみの設置であるなど、高齢者や身障者の利用が困難になっている。そのため、地域コミュニティ活動の拠点として機能的に十分な施設とは言いがたく、数年前より再三にわたって、地域住民から改善の要望が出されている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、当該施設をバリアフリー化や利便性の向上を念頭に、住民の誰もがより使いやすい快適な施設に建て替え、住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 第3区人口及び世帯数(平成27年4月1日時点) 人口 289人 世帯数129世帯</p>				
補助事業の内容	第3区地区集会所建設工事 木造平家建 延床面積 111.79㎡				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成27年度				
事業費及び交付金額		26年度まで	27年度	28年度 以降予定	計
	事業費	円 1,809,000	円 30,250,800	円 0	円 32,059,800
	交付金額	円 1,650,000	円 27,931,000	円 0	円 29,581,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 供用開始後、地域住民への聞き取り調査を実施したところ、快適で使いやすいと好評を得ており、実際に盛んに利用されるなど、住民の集う地域コミュニティの拠点として十分な機能を果たしていることから、住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 事前に地元説明会を行い、工事中は工事看板に記載した。また、地区の回覧や完成後には集会所内にプレートを設置して周知した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>これまでに建設した地区集会所の優れた点を取り入れるとともに、住民の声を聞きつつ改良点を探するなど、よりよい施設となるように十分な視察と検討を重ねながら事業実施を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	-				

# 平成27年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道箕郷-206号線改良舗装工事				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町生原地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は主要地方道高崎・東吾妻線と県道柏木沢・大八木線を結ぶ地域の主要道路であるとともに、地区の通学路にもなっている。          しかし、老朽化に伴う路面のひび割れ等の損傷が激しいため、周辺住民の日常生活に支障をきたしている。          そこで、現在の交通量に見合った構造で舗装を改良することにより、車両及び歩行者の通行の快適性・安全性を確保し、周辺住民の生活環境の向上を図る</p> <p>【参考指標】          箕郷町生原地区 世帯数 1,581世帯          人口 4,018人          (平成27年12月1日現在)</p>				
補助事業の内容	工事延長 L=60.0m/60.0m 幅員W=6.3m				
補助事業の始期及び終期	平成26年度 から 平成30年度				
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度以降	計
	事業費	円 4,352,400	円 4,687,200	円 74,155,200	円 83,194,800
	交付金額	円 4,026,000	円 4,000,000	円 72,974,000	円 81,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]          工事完了区間について、地域住民(区長等)に聞き取り調査を行ったところ、安全性・快適性が向上しているとの回答があった。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]          地域住民への周知は、工事看板及び工事回覧への記載、工事完成後ペイントを実施した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	工事完了区間について、通行の安全性・快適性が向上したことから、今後とも地域住民の理解を得ながら、事業を実施する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	-				

# 平成27年度

付紙様式第2

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道箕郷-3-358号線改良舗装工事				
補助事業者名	高崎市				
実施場所	高崎市箕郷町西明屋・矢原地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は主要地方道高崎・東吾妻線と県道新井・下室田線を結ぶアクセス道路であり、周辺に採石場や給食センターがあることから、大型車が多く通行する。</p> <p>しかし、近年の交通量の増加により、舗装構成が現在の交通量に対応した構造となっていないことや、老朽化に伴う劣化もあり、舗装面のひび割れやたわみ等の損傷が多く見られ、交通騒音や車両走行の安定性低下による交通事故発生の危険性が高まっていること、降雨後にできる水溜りによる歩行者の水はねなどにより周辺住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>そこで、現在の交通量に見合った構造で舗装を改良することにより、大型車をはじめとする車両及び歩行者の通行の快適性・安全性を確保し、周辺住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 交通量(大型車) 247台/12h(平日7:00-19:00)</p>				
補助事業の内容	工事延長L=500.0m/980.0m 幅員W=6.6m				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成28年度				
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度 予定	計
	事業費	円 41,288,400	円 25,639,200	円 15,000,000	円 81,927,600
	交付金額	円 39,000,000	円 23,949,000	円 13,500,000	円 76,449,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 工事完了区間について、地域住民(区長等)に聞き取り調査を行ったところ、安全性・快適性が向上しているとの回答があった。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 地域住民への周知は、工事看板への記載及び工事回覧、工事完成後ペイントを実施した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	工事完了区間について、通行の安全性・快適性が向上したことから、今後とも地域住民の理解を得ながら、事業を実施する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	-				